

○6月の土砂災害防止月間の取り組みとして、砂防施設の点検を自治体と連携して実施。
○点検では砂防施設の機能が維持されているか、溪流の状況とともに確認し、ドローンやレーザー等を用いて日頃、職員が気をつけている点検の視点を共有した。

<実施概要>

- 日程
 - ①令和4年6月20日(月)
 - 9:30~10:00 市之倉第3砂防堰堤(多治見市)
 - 11:00~11:30 一の洞第2砂防堰堤(土岐市)
 - 13:30~16:00 四ツ目川遊砂工(中津川市)
 - ②令和4年6月21日(火)
 - 10:00~12:00 梨子沢第3砂防堰堤(南木曾町)
- 参加者(約30名)
中部地方整備局 多治見砂防国道事務所
岐阜県多治見土木事務所、恵那土木事務所、多治見市、
中津川市、土岐市、長野県木曾建設事務所、上松町、
南木曾町、大桑村
- 実施内容
 - ・砂防施設の点検
 - ・レーザー距離計、ドローンを用いた点検
 - ・意見交換 等

<点検の状況>



砂防施設の点検
(6/20 多治見市:市之倉第3砂防堰堤)



レーザー距離計を用いた点検
(6/20 土岐市:一の洞第2砂防堰堤)



ドローンを用いた点検
(6/20 中津川市:四ツ目川遊砂工)



砂防施設点検の説明
(6/21 南木曾町:梨子沢第3砂防堰堤)

<参加した自治体職員の感想>

- ・日頃意識していない砂防施設の機能を知ることができた。
- ・出水期前に関係者と点検することで、災害発生時の対応について振り返ることができた。
- ・人家が近接する砂防堰堤が多数あることを知り土石流の危険を実感した。
- ・市役所からも近く、何かあればいち早く駆けつけられるはず。その際は今日得たポイントなどに注目して点検したい。
- ・日頃から、顔の見える関係が重要と感じた。このような機会が今後も必要と感じた。